

令和3年度第2回草津市上下水道事業運営委員会説明資料（水道事業）

開催日 令和3年 6月18日（金）

資料送付後に委員の皆様からいただいたご意見についての修正箇所は以下の通りです。

概要版および計画書（本編）修正箇所

該当箇所		区分	修正前	修正後
概要版	計画書			
-	P1	文言整理	また、平成28年3月には、ビジョンのフォローアップとして、計画期間（平成23年度～令和3年度）の中間で各事業の進捗状況の検証と評価を行い、さらに、社会情勢の変化等を踏まえ、目標や施策など計画の見直しにより、 <u>草津市水道ビジョン</u> に沿って、各施策を推進し、今日に至っています。	また、平成28年3月には、ビジョンのフォローアップとして、計画期間（平成23年度～令和3年度）の中間で各事業の進捗状況の検証と評価を行い、さらに、社会情勢の変化等を踏まえ、目標や施策などを見直した「 <u>草津市水道ビジョン</u> 」に沿って、各施策を推進し、今日に至っています。
P1	P1、2	文言整理	<p>【本編 P1、概要版 P1】 …「第2次草津市水道ビジョン」（以下「水道ビジョン」という）を策定するものです。 なお、本書は水道ビジョンおよび<u>経営計画</u>により構成しています。</p> <p>【本編 P2】 水道ビジョンは、<u>水道事業経営計画</u>の上位に位置するものであり、</p>	<p>【本編 P1、概要版 P1】 …「第2次草津市水道ビジョン」（以下「水道ビジョン」という）を策定するものです。 なお、本書は水道ビジョンおよび<u>草津市水道事業経営計画</u>（以下「<u>経営計画</u>」という。）により構成しています。</p> <p>【本編 P2】 水道ビジョンは、<u>経営計画</u>の上位に位置するものであり、…</p>
-	P11	時期の明記	大津市企業局との連携により…	<u>平成28年度から</u> 行っている大津市企業局との連携により…
-	P13	時期の明記	…浄水処理施設を補うために、 <u>受水量</u> を増量します。	…浄水処理能力を補うために、 <u>令和4年度から</u> 受水量を増量する予定です。
-	P18	時期の明記	本市では、バックアップ機能の強化として北山田浄水場系統の配水管とロクハ浄水場系統の配水管を結ぶ連絡管工事を実施しました。	本市では、バックアップ機能の強化として <u>平成24年度から平成26年度まで</u> 北山田浄水場系統の配水管とロクハ浄水場系統の配水管を結ぶ連絡管工事を実施しました。
-	P19	時期の明記	落雷などによる停電に備え、 <u>2箇所の取水ポンプ場とロクハ浄水場新館</u> は、 <u>2回線受電</u> の整備を行いました。	落雷などによる停電に備え、 <u>平成30年度に2箇所の取水ポンプ場、令和2年度にロクハ浄水場新館の2回線受電</u> の整備を行いました。

該当箇所		区分	修正前	修正後
概要版	計画書			
P4	P20	説明の追記	収益的収入は、横ばい傾向で推移しており、令和元年度では 24.3 億円の収益的収入を計上しています。収益的収入の約 86%を給水収益が占めています。	収益的収入は、横ばい傾向で推移しており、令和元年度では 24.3 億円の収益的収入を計上しています。収益的収入の約 86%を給水収益が占めています。 <u>なお、給水収益については、水道料金を 10%減額することで使用者への利益還元を行っています。</u>
-	P25	表記誤り	【図表 2-17】 望ましい傾向についての記載なし	【追記】 望ましい傾向↓
-	P28	時期の明記	図表 2-21 職員の年齢構成（令和元年度、嘱託、臨時職員を含まず）	図表 2-21 職員の年齢構成（ <u>令和 2 年 3 月 31 日時点</u> 、嘱託、臨時職員を含まず）
-	P30	時期の明記	水道法の一部を改正する法律が施行され、…	<u>令和元年 10 月に</u> 水道法の一部を改正する法律が施行され…
-	P39	表示誤り	【図表 3-5】 他のグラフに比べて色が薄い	他のグラフに合わせて色を濃くします。
-	P47～57	説明の追記	【P47、51、57 欄外】 ：水道事業ガイドライン業務指標	【P47、51、57 欄外】 ：水道事業ガイドライン業務指標 <u>(P80 参照)</u>
-	P51	文言整理	【浄水施設の耐震化率】 <u>浄水処理施設の耐震化されている割合 (%)</u> を示すもので、北山田浄水場の <u>耐震化完了</u> で 100%となる見込みです。 【配水池の耐震化率】 <u>配水池について、耐震化されている割合 (%)</u> を示すもので、北山田配水池の <u>耐震化完了</u> で 100%となる見込みです。	【浄水施設の耐震化率】 <u>耐震対策を施された浄水施設能力の割合 (%)</u> を示すもので、北山田浄水場の完了で 100%となる見込みです。 【配水池の耐震化率】 <u>耐震対策を施された配水池有効容量の割合 (%)</u> を示すもので、北山田配水池の完了で 100%となる見込みです。
-	P57	説明の追記	「水の安定供給」に満足している市民の割合は、市民意識調査の回答項目（「満足」・「やや満足」・「ふつう」・「やや不満」・「不満」）のうち、「満足」・「やや満足」の回答割合を示すもので、上位計画である総合計画と同じ指標としています。	「水の安定供給」に満足している市民の割合は、市民意識調査の回答項目（「満足」・「やや満足」・「ふつう」・「やや不満」・「不満」）のうち、「満足」・「やや満足」の回答割合を示すもので、上位計画である総合計画と同じ指標としています。 <u>目標値の設定については、令和 2 年度の実績値を基準とし、過去の年平均増加数を加算した値としています。(R2 実績値 47.1%)</u>

該当箇所		区分	修正前	修正後
概要版	計画書			
-	P64	文言整理	…どちらも実際に現金 <u>支出</u> を伴わないため、	…どちらも実際に現金の <u>増減</u> を伴わないため、
-	P68、70	文言整理	<p>【P68】 令和14年度以降に純損失が発生し、計画期間中の当期純利益の確保が不可能であることから、基本方針にそぐわない結果となる見通しとなります。</p> <p>【P70】 計画期間中の当期純利益を確保することができ、新規の企業再発行額も抑えられることができ、資金残高も確保できることから、基本方針に沿った結果となり、安定した経営を継続することができる見通しです。</p>	<p>【P68】 令和14年度以降に純損失が発生し、計画期間中の当期純利益の確保が不可能であることから、<u>財政計画の基本方針</u>である「<u>計画期間中の当期純利益の確保</u>」にそぐわない結果となる見通しとなります。</p> <p>【P70】 計画期間中の当期純利益を確保することができ、新規の企業再発行額も抑えられることができ、資金残高も確保できることから、<u>財政計画の基本方針</u>である「<u>計画期間中の当期純利益の確保</u>」に沿った結果となり、安定した経営を継続することができる見通しです。</p>